

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成22年3月9日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0191200039		
法人名	株式会社 ニチイ学館		
事業所名	ニチイのほほえみ恵庭		
所在地	北海道恵庭市黄金南1丁目21番地の5 (電話) 0123-39-3081		
評価機関名	タンジント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成22年3月9日	評価確定日	平成22年3月10日

## 【情報提供票より】(平成22年2月23日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)21年10月1日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	17人	常勤	16人, 非常勤 1人, 常勤換算 15.1人

### (2) 建物概要

建物構造	木造 造り	
	2階建ての	1~2階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45,000円	その他の経費(月額)	18,900円	
敷金	有( ) 無( )			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( ) 90,000円 無( )	有りの場合 償却の有無	有 / 無( )	
食材料費	朝食	250円	昼食	350円
	夕食	400円	おやつ	円
または1日当たり 概ね 1,000円				

### (4) 利用者の概要(2月23日現在)

利用者人数	18名	男性	3名	女性	15名
要介護1	7名	要介護2	5名		
要介護3	3名	要介護4	2名		
要介護5	1名	要支援2			
年齢	平均 86.5歳	最低	76歳	最高	101歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	恵み野病院、尾形病院、恵庭南病院、島松病院、恵み野皮膚科 めぐみの眼科、こがね歯科クリニック、ふぁみーゆデンタルクリニック
---------	--

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

家族に介護記録を閲覧して戴く工夫やヒヤリ・ハット等の事例の紹介、事故防止の為に改善の取り組みを家族会等でオープンにし、そこでの意見交換を運営に反映させている2ユニットのグループホームです。また、生け花の指導や大正琴、フラダンスや歌謡等の地域のボランティア訪問の受け入れや国の介護雇用プログラム、ヘルパー実習生や看護学科の大学生の受け入れ等地域との交流・連携やホームの持つ機能の地域への還元も行われています。一人ひとりの希望や意向を大切に、はり絵や押し花等趣味への支援や気分転換のための散歩や食材の買出し、ホテルでの外食や由仁ガーデン見学等楽しみごとへの支援も行われています。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 事業所登録番号の変更により新事業所番号では、はじめての外部評価となります。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 管理者、職員は、評価を実施する意義を理解し、自己評価は、新たな気づきや振り返りの機会として利用し、課題を明確にして具体的改善に活かしています。また、外部評価の結果は、今後、職員間で話し合わせ改善状況を運営推進会議や家族会に報告されていく予定です。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、年6回を目安に開催され、主な議題は 新任役員の紹介とご挨拶 地域ボランティアの受け入れ状況について 介護雇用プログラム推進事業への協力について ヒヤリ・ハット、事故事例の取り組みについて 前回、意見を戴いた改善事項の進捗状況について
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族や来訪者等が意見や苦情等を言い表せるように玄関入り口にご「意見箱」を設置しています。また、玄関ホールに苦情等の法人受付窓口の明示や苦情申し出先の啓蒙ポスターが掲示されています。また、家族会、運営推進会議の委員との意見交換で、要望や不安な点等話し合わせ、運営に反映されていると共に報告されています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 新興住宅街に開設され、地域との連携が難しい点もあるが、町内会に加入して清掃事業や夏祭りに参加する等交流・連携に努めています。また、地域の大正琴やフラダンス、生け花や歌唱、折り紙等のボランティアの受け入れやヘルパー実習生や大学の看護学科の学生の受け入れ等ホームの持つ機能の地域への還元にも取り組まれています。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えるサービスとして「第二の家庭の実現」の理念を作りあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホーム会議、ユニット会議を通じて、職員間で共有されている。また、理念の達成のために、具体的な毎月の目標、週間目標を掲げている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	新興住宅街に開設され、地域との連携が難しい中で、町内会に加入して清掃事業や夏祭りに参加する等交流・連携に努めている。また、地域の生け花や歌唱、折り紙等のボランティアの受け入れやヘルパー実習生や大学の看護学科の学生の受け入れ等ホームの持つ機能の地域への還元に取り組んでいる。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者、職員は、評価を実施する意義を理解し、自己評価は、新たな気づきや振り返りの機会として利用し、課題を明確にして具体的改善に活かしている。また、外部評価の結果は、今後、職員間で話し合われ改善状況を運営推進会議や家族会に報告されていく予定です。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、年6回を目安に定期的開催されている。また、委員は、恵庭市担当者、包括支援センター職員、家族、町内会役員、介護支援専門員、民生委員、管理者及び職員で構成され、ボランティアの受け入れ等具体的に話し合われている。		
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議以外にも、ホーム主催の行事や火災避難訓練参加などで助言を得る等恵庭市担当者や包括支援センターと連携してサービスの質の向上に取り組んでいる。		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	定期的に「ほほえみ恵庭通信」を発行して、クリスマス会や余興等のホーム行事参加の様子を伝えたり、状態変化のあった場合には都度詳細を連絡している。また、金銭管理は定期的に報告している。		特筆すべき点として「ほほえみ恵庭通信」で「ちょっとした介護知識」を連載して、認知症の理解や広報に取り組んでいる。今後も継続されることを期待します。
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族や来訪者等が意見や苦情等を言い表せるように玄関入り口にご「意見箱」を設置している。また、玄関ホールに苦情等の法人受付窓口の明示や苦情申し出先の啓蒙ポスターが掲示されている。		特筆すべき点として、家族に介護記録を閲覧して戴く工夫やヒヤリ・ハット等の事例の紹介、事故防止の為の改善の取り組みを家族会等でオープンにし、そこでの意見交換を運営に反映させている。
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の離職率は低く、異動等があった場合には「ほほえみ恵庭通信」で職員の紹介記事が掲載されている。また、管理者は、職員の離職や異動などで利用者に影響を与えないように配慮する取り組みをしている。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>ユニット毎の学習委員が、ホーム会議、ユニット会議以外にも内部の研修を行っている。また、地域のグループホームネットワークでスキルアップ研修や外部講師を招いての外部研修に参加している。法人内でも、新入スタッフ・新人管理者を対象にした導入研修が実施されている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域の同業者とグループホームネットワークを設立し、情報の共有や研修会、スタッフ間の交流をすすめている。</p>		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、入居前には職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>センター方式を活用して、職員と一緒に食材の買いだしや野菜の皮むき、食事の準備や後片付け、食器洗い、花壇や菜園作り等一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	センター方式で、一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向を把握し、散歩や買い物、ホーム行事参加やボランティアとの交流等本人本位に検討している。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、利用者、家族の希望や医師からの助言、職員からの意見を取り入れ具体的な介護計画となっている。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとにカンファレンス、モニタリングを通じて、現状に即した介護計画を作成している。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、散歩や買い物、通院や往診、訪問理美容の利用等柔軟な支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族等の希望を大切に、協力医療機関や納得が得られたかかりつけ医との連携で適切な医療が受けられるよう支援している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から医師との連携や本人・家族の意志が確認され職員間で共有されている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	コンプライアンスの指示が徹底されている。また、一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した声かけや記録の扱いをしている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切に、毎日の散歩や外出レク、菜園や花壇の手入れ、食材の買出し、押し花作りやはり絵等希望にそって支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、食材の買いだしや野菜の皮むき、配膳の準備や食器洗い等職員と一緒にやっている。また、時には、ホテル等の外食ツアーも実施している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、週2回を目安にゆっくりと入浴ができるように工夫されている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かしながら、散歩や買い物、歌唱や畑仕事、お茶だしや調理の準備、押し花作りやはり絵等楽しみごと、気晴らしの支援をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	食材の買いだしや毎日の散歩、花壇の手入れや菜園での作業、紅葉狩りや由仁ガーデン見学等一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。また、玄関は、センサーの設置で外出が察知できるように取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>火災避難訓練や緊急連絡網の通信訓練が定期的に実施されている。また、避難訓練には市の担当者も参加して適切な助言を受けている。</p>		<p>今後は、一時避難場所の確保や地域と連携した協力体制の確立を検討されることに期待します。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>協力医療機関の管理栄養士や医師の指導・助言を受けて栄養バランスや摂取カロリーが配慮されている。また、具体的な食事や水分の摂取量も把握されている。</p>		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用空間には、利用者の押し花やはり絵、生け花等が飾られ家庭的雰囲気を感じられた。また、敷地内の花壇や菜園が作られ季節感を味わえたり、楽しみごとにもなって本人が居心地良く過ごせる工夫がされている。利用者にとって気になる臭いや音の大きさ、光の強さは感じられない。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、観葉植物や押し花等の手作りの作品が飾られたり、使い慣れた家具や家族写真等が飾られて、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。